



北斗句会 六月定例会（五日 偕行社） 兼題「雨」「日」

五十音順 特選は特選 石田きよし選

夏の日やガイドに魅かる小谷城 大崎石州

もう一步踏み出す力更衣 太田黒幸風

夕間暮れ闇に染み込むせみ時雨 大森康政

梅雨空や奥から傘と妻の声 竹内雲泉

髪束ねうなじの白き妻の初夏 田中資凡

木下闇光の欠片こぼれをり 長池豆陽

五月雨や濁りし川の舳船 深見十万

合掌の小さき地蔵や苔の花 藤田紀潮

街を行く八十路をまもる片かげり 宮下ひかる

暑き日や麒麟の影の動かざる 森田光彦

梅雨晴の車窓となりぬ伊吹山 山縣秀雄

広がり競争投網や余花の雨 吉岡誠山



はつなつの群青の湖風もまた 石田きよし